

令和3年12月23日朝礼

「得意なこと発表会」で発表してくれた人、ありがとうございました。誰でも、苦手なこともあれば、好きなこと、得意なことをもっていると思います。これからもお互いのよいところを認め合って、自分も友達も大切にしていけるとよいと思います。

さて、あと1週間で、令和3年、2021年の終わりです。最後の日のことを「大晦日」と言いますね。大晦日は、昔から、新年を気持ちよく過ごすために準備する日であり、今年あった嫌な出来事にお別れをする日であると言われてきました。また、除夜の鐘を聞くことで、悩みや苦しみを軽くできると言われてきました。この機会に、皆さんも、ぜひ1年間を振り返ってみましょう。今年うれしかったことは？今年悲しかったことは？今年やってみて楽しかったことは？今年できるようになったことは？今年できなくて悔しかったことは？いろいろな振り返りをして、新しい年につなげていくようにしたいものですね。

今年1年を漢字で表すと？といった話題をよく聞きます。今年の皆さんの様子を、漢字一文字で表すと、どんな字になるのかなと私も考えてみました。1年生の皆さんでも分かるようにと、1年生で学習する漢字の中から選んでみました。

私が選んだ漢字は「月」です。

「月」に皆さん、どんなイメージをもちますか。月は、暗い夜空を、明るくやさしく照らしてくれます。友達にやさしい言葉をかける子がたくさんいました。困っている子がいるときに、助けてあげる子もたくさんいました。「あきたけ」の「た」と「け」、楽しく元気に生活するには、お互いの気持ちをよく考えて、時には助け合いながら生活することが大切ですね。また、月は、細い三日月のような月から、だんだんと大きくなって、満月になっていきますね。でも、すぐには満月になりません。一日一日、少しずつ大きくなっていきます。毎日勉強や運動にがんばって、どんどん成長していく皆さんにぴったりだと思います。

ただ、月の明るさは、太陽の明るさにはかないませんね。皆さんの朝の挨拶などを見ていると、マスクをしているせいか、まだまだ遠慮気味だと思います。「あきたけ」の「あ」。太陽のように今よりもっと明るく元気に挨拶をし、太陽のように、まわりの方の気持ちを温めてあげて、これからの目標にしてほしいと思います。

このような理由で、「月」の字を選びました。皆さんが、自分の一年を漢字で表すとしたらどんな字を選びますか。ぜひ、考えてみてください。

皆さんがよい年を迎えることを、心より願っています。